

調査の概要

<目的>

本調査は、東日本大震災による建設資材への影響をよりの確に把握し、災害復旧等事業の円滑な推進を図るため、東北地方及び周辺地域における建設資材の価格、需給、在庫等の変動状況を、毎月16～20日にモニターから情報を入手し、把握するものである。

<調査対象地域及び調査対象業者>

1) 調査対象地域

11県

2) 調査対象業者

- ・ 各県ごとに、建設資材の供給側（生産者、商社、問屋、販売店、特約店）と需要側（建設業者）から、それぞれ20社程度のモニターを選定（需要側219社、供給側177社、合計396社）し、調査を実施している。
- ・ 選定は、主に県庁所在地に所在する業者から行っている。

3) 調査対象地域及びモニター数

地 方	実 施 都 道 府 県 名
東 北	青森県(21・9)、岩手県(22・11)、宮城県(18・12)、秋田県(13・11)、山形県(22・12)、福島県(14・7)
関 東	茨城県(20・21)、栃木県(21・20)、群馬県(21・23)、千葉県(21・25)
北 陸	新潟県(26・26)

※（ ）内の数字は、各県のモニター数（需要側・供給側）

<調査対象資材> 7資材13品目

- 1) セメント _____ 普通ポルトランド・バラ物
- 2) 生コンクリート _____ 建築用 (21N/mm²-18cm-25mm)
- 3) 骨材 _____ ①砂、 ②砂利、 ③碎石、 ④再生碎石
- 4) アスファルト合材 _____
①密粒度アスコン13 (新材)
②密粒度アスコン13 (再生材)
- 5) 鋼材 _____
①異形棒鋼 (SD295A) D16
②H形鋼 (200×100×5.5×8mm)
- 6) 木材 _____
①杉正角・特1等 (3.0m×10.5×10.5cm)
②型枠用合板・輸入品 (12.0×900×1,800mm)
- 7) 石油 _____ 軽油1、2号

<調査項目>

各調査対象資材について、以下の項目等についての調査を実施している。

- (1) 現在及び将来(3ヶ月先)の価格動向(下落・やや下落・横ばい・やや上昇・上昇)
- (2) 現在及び将来(3ヶ月先)の需給動向(緩和・やや緩和・均衡・ややひっ迫・ひっ迫)
- (3) 現在の在庫状況(豊富・普通・やや品不足・品不足)